

令和7年度 総合的な学習の時間全体計画

江戸川区立篠崎中学校

校長名 紅林 兼一

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	よく学び、深く考える生徒 思いやりと規範意識のある生徒 すすんで体を鍛える生徒 社会に貢献する生徒
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 読書科との関連の中で、課題発見、情報収集、まとめ、表現等の基本的な技法を身に付けることができるようにする。 2 読書科との関連の中で、問題の発見し、その解決に向けた取組について、自己の考えを表現することができる。 3 読書科との関連の中で、探究的な学習の良さを理解し、主体的に社会の中で学び続けていこうとする態度を養う。

育てようとする資質や能力及び態度		
知識及び技能		
第1学年	第2学年	第3学年
様々な仕事に関する知識理解 調べる学習に関わる大まかな知識・技能の習得	職場体験を通した生きた知識・技能の習得 情報の整理・分析に関する知識・技能の習得	自己の進路を選択する知識・技能の習得 自己の考えをまとめ表現する知識・技能の取得
思考力、判断力、表現力等		
第1学年	第2学年	第3学年
調べたい職場の情報の整理・分析する。 人や社会・自然に関わる問題を見付ける。	職場で学んだ情報をまとめ・表現する。 自己の考えた課題の解決策を提案する。	自己を見つめた、進路の選択する。 自己の考えた解決に関わる他者に伝える。
学びに向かう力、人間性等		
第1学年	第2学年	第3学年
探究的な学習の価値を認識する。	主体的に学ぼうとする態度を養う。	社会の中で学び続けていこうとする態度を養う。
第1学年	第2学年	第3学年
日本の伝統文化・国際理解	日本の伝統文化・国際理解	日本の伝統文化・国際理解

内 容	学習対象	学習事項
第1学年	職業や自己の将来にかかわる課題 生徒の興味・関心に基づく課題	職場調べ 簡単な調べる学習
第2学年	職業や自己の将来にかかわる課題 現代的な諸課題	職場体験学習 自己が考えた課題に応じた調べる学習
第3学年	職業や自己の将来にかかわる課題 人や社会、自然に関わる課題	自己を見つめた進路学習 人や社会、自然に関わる調べる学習

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
1年生は、興味・関心に基づいた調べる学習を行い、後半、職業調べを行う。2年生は、現代的な諸課題に関する調べる学習を行い、後半、職場体験を行う。3年生は、人や社会、自然に関わる調べ学習を行い、後半、自己を見つめた進路学習を行う。また、各学年数時間ではあるが、日本の伝統文化や国際理解教育に関わる調べる学習を行う。	読書科との関連を図った指導の工夫 個に応じた指導の工夫 諸感覚を駆使する体験活動の重視 協働的な学習活動の充実 自己の進路を見据えた個別の指導の工夫	学校経営方針に基づく校内の連絡調整と支援体制の確立 進路・学習部を拠点とした情報の集積と活用 学校運営協議会を中心とした地域資源の発掘・活用 担任外の教職員による支援体制の樹立	ポートフォリオを活用した評価の充実 個人内評価の重視 学期末、学年末における指導計画の評価の実施 授業分析による学習指導の評価の重視